

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2016-69694(P2016-69694A)

【公開日】平成28年5月9日(2016.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-027

【出願番号】特願2014-200860(P2014-200860)

【国際特許分類】

C 2 3 C 14/24 (2006.01)

C 2 3 C 14/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

【F I】

C 2 3 C 14/24 U

C 2 3 C 14/12

C 2 3 C 14/24 N

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月27日(2017.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記真空槽は、複数の有機蒸着室から構成され、各有機蒸着室には前記各蒸発源と前記水晶発振式膜厚計が配設され、この一の有機蒸着室に配設する前記水晶発振式膜厚計の前記複数の水晶振動子は、予め残余のうちの他の有機蒸着室の前記蒸発源から蒸発させた有機材料を、一定膜厚形成したら次の水晶振動子に交換することでこの複数の水晶振動子上に夫々前記有機材料下地膜を形成し、この有機材料下地膜付の水晶振動子を備えた水晶発振式膜厚計により、前記一の有機蒸着室の前記蒸発源での蒸着工程における膜厚モニタリングを行う構成としたことを特徴とする請求項1記載の真空蒸着装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、前記真空槽1は、複数の有機蒸着室12から構成され、各有機蒸着室12には前記各蒸発源2と前記水晶発振式膜厚計Mが配設され、この一の有機蒸着室12に配設する前記水晶発振式膜厚計Mの前記複数の水晶振動子4は、予め残余のうちの他の有機蒸着室12の前記蒸発源2から蒸発させた有機材料を、一定膜厚形成したら次の水晶振動子4に交換することでこの複数の水晶振動子4上に夫々前記有機材料下地膜6を形成し、この有機材料下地膜6付の水晶振動子4を備えた水晶発振式膜厚計Mにより、前記一の有機蒸着室12の前記蒸発源2での蒸着工程における膜厚モニタリングを行う構成としたことを特徴とする請求項1記載の真空蒸着装置に係るものである。